（第3種郵便物認可）　上毛新聞　昭和51年（1976年）8月29日（日曜日）（12）

群馬のおいたちをたずねて ⑦

鏑川と野上川の争い

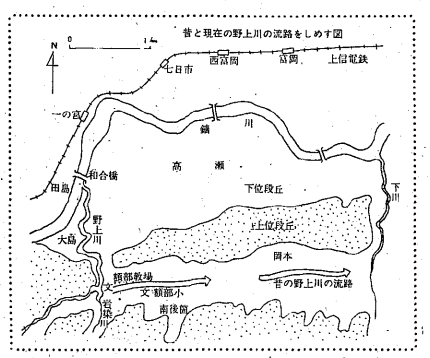
高橋　武夫

隆起を背景に流路変更

川は洪水のたびに流路を変える。現在のような人工の堤防がなかった大昔の川は、洪水のたびにあふれて、思いもよらぬ方向へ流れを変え、新しい地形を作ってきた。

富岡市の南、稲含山から北流し、一ノ宮の和合橋の下で鏑川に合流する現在の野上川も、過去一万年ほどの間に流路を大きく変えた川の一つである。富岡額部小学校のある南後箇から岡本にかけては、その北側に高瀬と岡本を境する標高二四〇㍍から長すると、この細長い平坦地へ無理なく流れ込むのである。

このように考える根拠はなんだろう。野上川やその支流の若染川の上流はほとんど結晶片岩と呼ばれる岩の分布地域なので、野上川が上流から運んでくる礫（れき）の内九〇㌫以上が結晶片岩である。一方、南後箇や岡本の地域には、今から二千万年ほど昔に海の底でたい積した地層があり、その上に川が運んだ砂礫層が重なっている。この砂礫層は現在の野上川が運び出す砂礫とほとんど同じで、結晶片岩の礫が圧倒的に多い。この事実から、かつて野上川がこの平坦地を流れていたと考えることができよう。



では野上川はいつごろその流れを変えたのだろう。鏑川の流域には、大きっぱにいって上下二段の河岸段丘面がある。いずれの段丘面も昔の鏑川が流れから運んできた砂礫層によってできているが、上位の段丘面には、砂礫層の上に軽石層を含んだ関東ローム層がありこれが上位の段丘面との大きな違いである。北関東ではこのローム層を上部ローム層と呼んでおり、今からおよそ二万年前より一万年前までの間に浅間山の活動によって噴出した軽石や火山灰である。下位段丘面に上部ローム層がないのは、火山灰が降っていた当時やその後、川の流れによって流されてしまったからである。

このことから下位段丘面には、火山灰の降った一万年以後にもまだ鏑川が流れていたことがわかる。

さて、南後箇、岡本地域にはこの上部ローム層がどこにも見られない。だから少なくともから一万年前までは野上川は南後箇、岡本の平坦地を東へ流れ、降ってきた火山灰を流してしまったに違いない。そのころ、高瀬の田んぼのある下位段丘面には鏑川が洪水ごとに高い瀬を立てて流れていたはずである。そんなある時、高瀬と南後箇へだてていた丘陵が切れて、野上川は流路を突然変えたのであろう。高瀬の下位段丘面で大部分は田島に次げての砂礫層には結晶片岩の礫が七〇㌫近くも含まれている。しかし、他の地域での結晶片岩礫はせいぜい一〇㌫程度である。これは明らかに高瀬の下位段丘面を鏑川が流れている時期に、野上川が突然流路を変えたことを示している。

野上川は今から一万年ほど前に、丘陵を切って今の高瀬の田んぼのある下位面に流路を変えた。関東山地の隆起を背景とした野上川の力か、鏑川の働きかは知るよしもないが、とにかく丘陵を切ってしまったのである。それまで野上川の河岸だった南後箇、岡本はすでにその時から農耕の舞台として準備されていたのである。

（下仁田高校教諭）

幼稚園の先生も試験で

太田市私立幼稚園協会

太田市私立幼稚園協会（稲村眞雄会長）では教諭採用に初めて試験をすることになり、五十二年度予定者から実施する。同協会加盟の幼稚園は十七園、今年五月一日現在の教員数は百四十三人、園児数は三千百三十一人（九十七学級）で、園児数の多い園は十三学級、少ないのは一学級。

資質の向上めざす

来年度から実施　欠員補充もスムーズに

これまでの教員採用は各園バラバラ。欠員が出来た場合、大学や短大、知人を介して募集していたが、急にやめられた場合、なかなか補充できない悩みがあった。これを解決すると同時に教員の資質を向上するために実施することになったもので五十二年度はテストケース、という。

試験の結果によってすぐ採用するのではなく、採用候補者名簿をつくり、試験と母身学校の成績、それに人物を見たうえで選考、名簿に登載、各幼稚園は必要に応じて名簿の中からさらに第二次選考（面接、実技）を行うことにしている。いま、第二次選考は受けられない。また各幼稚園の採用予定数によっては、名簿に登載されていても採用されないこともあるが、名簿は五十二年度限有効。

試験日は十月二十四日、太田市新井のひかり幼稚園で行い、科目は「教職専門」「一般教養」「論文」「実技（ピアノ）」。

出願期間は九月一日から十月一日まで、提出先は、飯塚町一二三の九、東別所幼稚園内、太田市幼稚園教員選考委員会事務局（☎373）。

出願書類、募集要項は次の幼稚園で交付している。（カッコ内は電話）

▽新井五五六、ひかり幼稚園（45五八三三、七二三四）▽新島六八八、なかよし幼稚園（45四九四四）▽飯塚町一二三の九、東別所幼稚園（45二五五）

なお十七の幼稚園名は次のとおり。

太田、ひかり、東別所、太田仁愛、新明、金山、敬愛、しなの、太田いずみ、三宝、宝泉、若葉、南、大光院、なかよし、台之郷、ひかり第二

シートベルトは飾りもの!?

着用わずか一割

県警調べ

県警交通部は二十七日、乗用車のシートベルト着用状況についての調査結果をまとめたが、年々シートベルトの重要性の認識は高まっているものの、高速道路でさえ実際に着用している人は全体のやっと一割しかいないことがわかった。

この調査はシートベルトの着用を推進している高交通部が、現実にどの程度着用が進んでいるのかについて調べたもので、今月一日から二十日までの間、東北高速道と一般道路（国、県、市町村道）の三十九カ所で調査員延べ三百二十人を繰り出して実施した。

まとめによると、高速道、一般道路とも前回調査の実績をやや上回った数字を示し、高速道路における運転者の着用率は一・六㌫（昨年十月調査、九・五㌫）助手席同乗者の着用率は一〇・二㌫（同七・九㌫）で、また一般道路での運転者の着用率は五・六㌫（昨年八月調査、二・四㌫）助手席同乗者の着用率四・一㌫（同二・三㌫）だった。

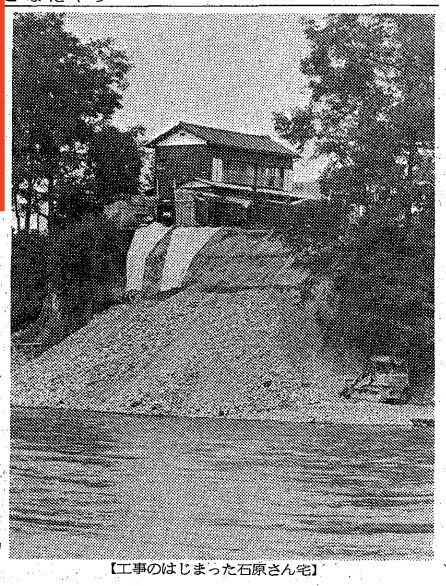
この結果に同交通部では「前回より数値がやや上回っているのはシートベルトの効用が認識されてきたため」と受け止めているが、高速道でさえやっと十人に一人の現状にはさすが落たんの色をみせている。

一方、同交通部の調べでは、今年の交通死亡事故のうち、自転車、歩行者の事故を除く四輪車事故四十九件五十六人（今月二十六日現在）についてみると、シートベルトを着けていても助からなかったとみられる事故は絶切事故など十四件二十人。残る三十五件三十六人については、助かったかもしれない、どいう分析結果が出ており「シートベルトはネクタイをしめるようずっと簡単、ぜひ着用を」と呼びかけている。

護岸工事は始まったが…

本対策はなお壁厚く

前橋公田町のガケ崩れ地帯


【工事のはじまった石原さん宅】

「厚重なるガケ崩れで、このままでは家もろとも利根川にのみこまれてしまう。早く護岸工事を」―と前橋市公田町のガケの上に住む家族が県に対策を訴えていたが、県は応急工事に着工した。しかし、今回の応急工事は、六月初旬、延長三十㍍にわたって崩れた部分だけ。この家族は一応、一安心したものの、これから利根川の増水期にむかっているだけに早く本格的な護岸工事を」と強く要望している。

この家は、同町の酒類販売業、石原実さん㈱宅。この付近で利根の流れは大きく行っており、その急流が直撃、石原さん宅下のガケにぶち当たるため、年々その部分がけずりとられている。かつては自宅と川の間には、他の住宅や道路があったが、二十年ほど前から次々と崩され続け、今はその跡形もない。さらに、六月初旬には、延長三十㍍、幅五㍍にわたって崩れ落ち、二階建ての店舗を兼ねた石原さんの住宅まであと六・五㍍に迫っていた。

今回の応急工事は、総工費約五百万円で、六月初旬に崩れた部分に長さ十二㍍の鉄線かごを敷きつめ、急流による浸食をくい止めようというもの。本工事が始まるまでの応急措置。

現在、鉄線かごを敷きつめるため、直径十㌢ほどの石をガケの上に運び、地盤を安定させる作業を進めているが、現場は急流、おまけにガケのすぐ下でも四㍍の水深という悪条件。ちょっと増水すると工事もストップしてしまい、工事は利根川まかせ。

前橋土木事務所でも水量の減ったときをねらい、いっきに工事を進め、九月中旬までには完成させたいとしているが、相手が"大自然"のため、ままならない状態。

また、本格的な護岸工事は、六月の同事務所の調査で、この上流にも危険個所があるため百九十㍍にわたって行う必要があり、総工費は三億円はかかるという結果が出た。このため、とても出先機関だけでは手に負えないため、建設省へと折衝中という。

石原さん宅でも、この応急工事で一安心はしたものの、この工事の十㍍ほど上流の浸食も進んでおり、楽観はできない。また、商売をしているため、どこかに移転することも不可能とあって、頭をかかえている。

話題のインタビュー

家族全員で歯みがき

「食生活の管理が大切」

―良い歯の子供を育てるコツは

答え　甘いものを与えないと感想は

答え　入賞するなんて思ってもみなかったのでびっくりしてしまいます。新聞には大きく取り上げられると、十九日にはテレビにも出演しました。入賞はともかく、私をはじめ家族はさぞ一度も歯医者に行ったことがありません。私の家は、家族全員でやっています。

―甘いものを与えないというと子さんのおやつなどは…

答え　実家が農家だったので取りたてのトマトを丸かじりしたり、トウモロコンをかじったりしていました。また、牛乳をよく飲ませました。二人の子供で一日一リットル位飲みました。

―食生活で注意していることは

答え　とくに注意しているということはありませんが、お米をあまり食べません。肉類を主としたおかずが中心。妊娠中はカルシウムをたくさんとりましたりしていました。また、牛乳をよく飲ませました。二人の子供で一日一リットル位飲みました。

―食生活で注意していることは

答え　とくに注意しているということはありませんが、お米をあまり食べません。肉類を主としたおかずが中心。妊娠中はカルシウムをたくさんとりました。

―コンクールで県一になった感想は

答え　入賞するなんて思ってもみなかったのでびっくりしてしまいます。新聞には大きく取り上げられると、十九日にはテレビにも出演しました。入賞はともかく、私をはじめ家族はさぞ一度も歯医者に行ったことがありません。私の家は、家族全員でやっています。

―甘いものを与えないというと子さんのおやつなどは…

答え　実家が農家だったので取りたてのトマトを丸かじりしたり、トウモロコンをかじったりしていました。また、牛乳をよく飲ませました。二人の子供で一日一リットル位飲みました。

―食生活で注意していることは

答え　とくに注意しているということはありませんが、お米をあまり食べません。肉類を主としたおかずが中心。妊娠中はカルシウムをたくさんとりました。

―コンクールで入賞する

答え　コンクールで